

学校研究の取組

1 研究主題～副題～

伝えて・磨いて・My Best Solution
～対話と Hakuism Dive2.0 を活用した授業づくりを通して～

2 目指す児童の姿

対話力と ICT 活用力を活かして情報を整理・分析し、授業で学んだことを表現する姿

3 今年度の研究の重点

○対話の目的を明確にすることで、協働的な学びを実現する取組

⇒マナビジョン・学習者用デジタル教科書の活用

○キーワードを引き出し、一人一人の児童が授業のまとめを記述する取組

⇒まとめテクニックと Hakuism Dive2.0 の活用

4 研究の内容

土台づくり

・羽咋っ子学び方講座 ・DIVE アイテムの紹介 ・まとめ方を全校集会で紹介 ・相互授業参観

単元デザイン

・単元を貫く問いの設定 ・付けたい力を明確化 ・キーワードを引き出す手立て

授 業

導入 ・まとめの書き出しと書き終わりを確認

展開 ・マナビジョンの活用 ・学習者用デジタルコンテンツの活用

終末 ・思考スキル・思考ツールを活用し、整理・分析⇒キーワードを引き出す

⇒自分でまとめる

授業後

・思考スキルを活用した実践を Hakuism Dive2.0 蓄積し、児童に紹介

検証方法

- ・学習アンケートの結果を分析：【DIVE アイテムの活用とキーワードを見つけることができたか】
- ・学期ごとに児童のまとめを検証：【まとめを記述できた児童の割合、キーワードを含んでいたか】

R7.5 No.5 **Fly High! Over the Teppen!**

MY BEST SOLUTION

羽咋小 研究だより みんなて創ろう 学校研究

目指すゴールの姿

①自分でまとめる力

を育てる

②たくさんの情報を整理・分析

思考スキル・思考ツールを活用

することで

③対話力

目的と話題を揃える

と

④ICT活用力

を駆使し

Hakuism DivE2.0

前回紹介した研究のイメージです。今回は、「自分でまとめる力」を育成するために、今実践していること、今後取り組みたいことを紹介していきます。授業を行っていく上で、どの力を、どの活動で育てていくのかを分かりやすくするために、番号を付けてみました。授業を構想する段階から、導入→展開→終末に分けて、紹介していきます。

▶ステップ0 ～授業を構想する段階～

③対話が自然発生するための取り組みで、話題を揃えるために、単元で働かせる見方・考え方を明確にし、共通の軸である「単元を貫く問い」を設定します。次に、本時で引き出したいキーワードを明確にし、子どもの姿から、どんな表現でキーワードが表出するかを想定します。←この「単元を貫く問い」と「引き出したいキーワード」は、指導案にも位置づけたいと思います。

(3) 指導観

単元の導入では、デジタル教科書のオープニングムービーや体育の時間にどちらが開脚できるかを競い合う児童の写真を提示することで、問題意識を高め、「角の大きさをはかるには？」という問いを設定する。この時、角

(3) 学校研究との関わり

【まとめて引き出したいキーワード】

180°, 360°, はからなくても分かる角度, たす, ひく

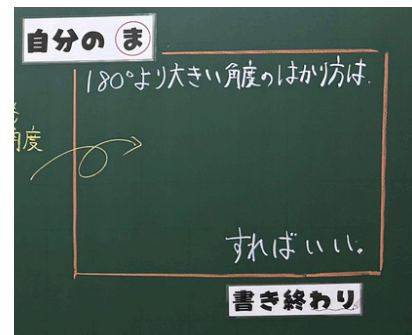
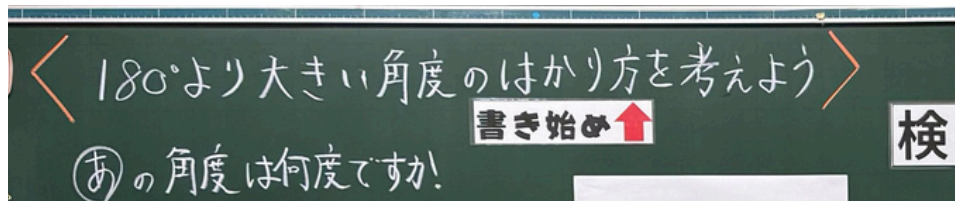
△キーワードを羅列しており, 180°, 360°と加減法の関係があいまいな記述。

○180°にたす, 360°から引く, というように, もとにした角度と計算方法が一致している記述。

軸を
ブラさない!

▶ ステップ1 ～導入～

①まとめるために、課題の中で書き出しに使える部分を見つけ、その後、書き出しにふさわしい書き終わりを考えます。そうすることで、まとめが穴埋め形式になり、文章表現が苦手な児童でも書きやすくなります。



②場合によっては、このタイミングで本時の思考スキルが明確になることもあります。ここでは、書き方と整理・分析の見通しを持つことができます。

例：<なぜ…なのか>なら、理由付けがスキルになり、まとめの語尾は～だから。

▶ ステップ2 ～展開前半～

③対話力が発揮できるように、④ICTを駆使し、スプレッドシートで学習状況をリアルタイムに把握&共有しながら活動の目的を明確にします。活動中は個別最適な活動ができるように、活動場所（板書の位置）を分けていきます。

検証

童早く
がく
検自
証力
す解
る決
スで
べき
ーた
ス児

名前	問題とけたか	検証できたか
翔	できたし自信あり!	できた!
実	できたけど自信ない...	できた!
愛	いっしょに考えよ	
空	先生教えて!	
莉	できたし自信あり!	できた!
帆	できたし自信あり!	できた!

▶ ステップ3 ～展開後半～

まとめの テクニック

分類⇒タイトル
比較⇒共通点

順番 ①②③④
まず⇒次に

①いくつかの考えに絞られてきた後は、教室後ろにあるまとめのテクニックやHakuism DivE2.0を児童と確認し、どの思考スキルを活用するかを決めていきます。

- ・考えが絞りきれないなら、さらに分類してタイトル付け
 - ・二つに絞られたら比較し、共通点や相違点を見つける
 - ・考えが出て、順序がありそうなら番号を付ける など
- そして、洗い出したキーワードを児童と確認したり、意味を説明させたりしながら、「どう?もうまとめ書けそう?」と確認したら、まとめを書かせていきます。

こんな流れで子どもたちに自分でまとめさせています。